

地域福祉論

《担当者名》宮本 雅央 m-miyamoto@hoku-iryō-u.ac.jp

【概要】

本科目は、地域福祉の基本的な考え方を理解することを目的に、地域福祉の主体や対象、地域福祉に関わる組織や団体および専門職の役割や実際について学習する。

【学修目標】

- 1 集団や地域のとらえ方に関する理論を理解し説明できる。
- 2 地域のニーズ（住民ニーズ）や地域課題の捉え方を説明できる。
- 3 地域を基盤とするソーシャルワークの基本的考え方を説明できる。
- 4 多機関協働やチームアプローチにおけるソーシャルワーカーとしての役割や実践方法を自分なりに想定できる。
- 5 事例から住民ニーズや地域生活における課題をイメージできる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の目的・ねらい、進め方及び評価基準の詳細等を理解する。地域福祉を考える意義を理解する。	宮本
2	地域社会の変化と地域生活課題 1	地域社会を理解するための概念や理論を学習し、現代的な地域社会の変化を理解する。	宮本
3	地域社会の変化と地域生活課題 2	地域生活課題の現状と社会的孤立について理解する。	宮本
4	地域における包括的支援体制 1	包括的支援体制構築に向けた施策を理解する。 (地域包括ケア、生活困窮者自立支援など)	宮本
5	地域における包括的支援体制 2	包括的支援体制構築に向けた施策を理解する。 (地域共生社会の実現に向けた取り組み、重層的支援体制整備事業など)	宮本
6	地域福祉ガバナンス	ガバナンスの考え方を理解し、地域福祉ガバナンスを進める取り組みを理解する。	宮本
7	多機関協働・多職種連携	多職種連携や多機関協働を促進する仕組みを理解する。	宮本
8	地域福祉の概念と理論	地域福祉の概念や理論的視点を学習し、今日的な地域福祉をめぐる展開と様々な組織や団体との協働について理解する。	宮本
9	地域福祉の歴史 1	戦前の日本や欧米における地域福祉の源流を理解する。	宮本
10	地域福祉の歴史 2	戦後から近年の地域福祉の政策化に至る変遷を学習し、近年の地域福祉を推進する政策的基盤を理解する。	宮本
11	地域福祉の推進主体	地域福祉を推進する社会福祉法人やNPO法人などの制度的基盤を学習し、公的部門と民間部門との協働のあり方を理解する。	宮本
12	地域福祉の主体形成	ICFと福祉教育の関係性を学習し、主体形成の過程やそれを目指す取り組みのあり方を理解する。	宮本
13	地域を基盤としたソーシャルワーク 1	地域を基盤としたソーシャルワークの概念を学習し、個と地域との一体的支援の考え方を理解する。	宮本
14	地域を基盤としたソーシャルワーク 2	総合相談や包括的支援体制を整備する過程を学習し、個と地域との一体的支援の展開のあり方を理解する。	宮本
15	地域を基盤としたソーシャルワーク 3	個と地域との一体的支援を実現するための権利擁護や支援困難事例への対応のあり方を理解する。	宮本

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

- ・ 授業への参加状況（20%）、各回での提出課題（20%）、定期試験（筆記試験）（60%）により総合的に評価する。
- ・ 授業への参加状況は、毎回の講義終了後に提出するリアクションペーパーで確認する。
- ・ その他、時間外の学修や任意提出のレポート課題も評価対象とする。
評価基準の詳細については、第1回講義で説明する。

【教科書】

一社）日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編（2021）『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 6 地域福祉と包括的支援体制』中央法規

【参考書】

岩間伸之・原田正樹（2012）『地域福祉援助をつかむ』有斐閣
岡村重夫（2009）『地域福祉論 新装版』光生館
山辺朗子（2011）『ジェネラリスト・ソーシャルワークの基盤と展開』ミネルヴァ書房
岩田正美（2008）『社会的排除』有斐閣
勝部麗子（2016）『ひとりぼっちをつくらない「コミュニティソーシャルワーカーの仕事」』全国社会福祉協議会

【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「地域福祉と包括的支援体制」に該当する。教職課程（公民）では、教科に関する科目の「社会学、経済学（国際経済を含む。）」に該当する。

【学修の準備】

- ・ 各回の内容に対応する教科書の該当箇所を一読し、予習して授業に臨むこと。（予習1時間）
- ・ 随時、授業内容に関連する文献や関連動画等を紹介する。時間外に文献を読んだり関連動画を視聴するなど理解を深めること。（予習1時間）
- ・ 定期試験は授業で配布した資料を出題範囲とするため、毎回の講義で配布する資料を保管し復習すること。（復習2時間）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP4 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
DP2 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している